

今年度の環境教育ワーキンググループの活動内容

1 継続した情報の収集と提供

学校における実践事例及び学校教育を支援する団体等の情報を取材し、とりまとめ後、ホームページ（kushiro-ee.jp）へ掲載した。

(1) 学校における実践事例

新学習指導要領を視野に入れた学習、地域の団体等と連携した学習、教員間でノウハウを共有し数年間継続して学習を行っている事例等を取材。

表 1 - 1. 平成 20 年度、21 年度に情報収集を行った実践事例

| 学 校 名 | 実施学年 | 実施時間 | 実践年度 | 情報収集年度 |
|-------------|-----------------|-----------------|-----------------------------|------------|
| 鶴居村立鶴居小学校 | 3 | 総合 | H19 (1) | H20 |
| | 4 | 総合・学級レク | H20 | H21 |
| 鶴居村立下幌呂小学校 | 3・4 (合同) | 総合 | H15、H17 H19、H21 (2) | H20 |
| | 全校児童 | 総合 | H20～H21 | H21 |
| 釧路市立光陽小学校 | 4 | 総合 | H16、H18 (3) | H20 |
| 釧路市立愛国小学校 | 4 | 総合 | H19～H21 (4) | H20 |
| 釧路市立青葉小学校 | 3、4 (2 年間) | 総合 | H19～H21 (5) | H21 |
| 釧路町立遠矢小学校 | 5 | 総合 | H15～H21 (6) | H20 |
| 弟子屈町立奥春別小学校 | 全校児童 | 総合、各教科 道徳、行事 | H19～H21 (7) | H20 |
| 釧路市立幣舞中学校 | 1 | 総合 | H16～H20 (8) | H20 |
| 標茶町立標茶中学校 | 1 | 総合 | H19～H21 (9) | H20 |
| 北海道阿寒高等学校 | 1 | 地歴・公民科 理科 | H12～H21 | H21 |

- 1) H12 年度までは全校児童を対象に湿原学習を行っていたが、一時休止し、H19 年度から再び実施している。
- 2) カリキュラムにおいて 2 年に一度釧路湿原に関する環境教育を実践することとしている。
- 3) 湿原学習は 4 年生で行っており、H17 年度は湿原学習を実践した教員が 3 年生担任となったため行っていない。H19 年度、H20 年度については内容が大きく縮小となったが、何らかの形で継続している。H20 からはフィールドには行っておらず、H21 年度は開校 50 周年行事等、優先すべきテーマがあるため、総合においては取り扱っていない。

- 4) まとまった時間を取り実践を開始したのは H19 年度から。以前はそれぞれの課題として扱っていた。
- 5) H19 年度は紹介事例とは異なり、4 学年において湿原学習を実践。新学習指導要領に沿った湿原学習を模索している。
- 6) H21 年度は紹介事例より内容を変更し縮小している。
- 7) 以前は個々の活動として実践しており、総合の時間で統合して実践を開始したのは H19 年度から。H21 年度は新型インフルエンザの影響により多くの実践が困難であった。
- 8) 総合の時間短縮に伴い H21 年度は一時休止とした。H24 年度からの新学習指導要領の実施までには時間の確保を行い、再開を検討している。
- 9) H21 年度からは時間数を縮小して実施している。

(2) 団体・企業等における実践事例

団体・企業等が学校と連携して行った実践事例を取材。

表 1 - 2 . 平成 20 年度、21 年度に情報収集を行った施設

| 施設名 | 対応内容 | 開設 | 情報収集年度 |
|-------------------|--|--------------|---------|
| 川湯エコミュージアムセンター | ・施設内・施設周辺のフィールドを使った学習 ・出前授業（弟子屈町内の小中学校のみ対象） | H11 | H20 |
| 鶴居村ふるさと情報館「みなくる」 | ・訪問の受け入れ ・施設内自由見学 | H12 | H20 |
| 鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ | ・施設への学校受け入れ ・出前授業 ・タンチョウティーチャーズガイド講習会実施 | S62 | H20 |
| 阿寒国際ツルセンター【グルス】 | ・出前授業 ・教員へのレクチャー ・児童、生徒へのレクチャー ・館内ガイド | H8 | H20 |
| 温根内ビジターセンター | ・訪問、遠足等の受け入れ ・環境教育プログラムの実施、アドバイス ・出前授業 | H4 | H20 |
| 塘路湖エコミュージアムセンター | ・訪問、遠足等の受け入れ ・環境教育プログラムの実施アドバイス ・自然ふれあい行事の実施 | H9 | H20 |
| 標茶町郷土館 | ・訪問学習の受け入れ ・出前授業（標茶町内を対象） ・資料貸出、質問対応 | S45 | H20 |
| 釧路市立博物館 | ・生徒の受け入れ ・出前授業 ・博物館周辺など野外での対応 | S58 (1) | H20 |
| 環境省釧路湿原野生生物保護センター | ・館内展示の案内、レクチャー等 | H5 | H20 |
| 釧路市湿原展望台 | ・展示施設及び展望台での解説 | S59 | H20、H21 |

1) 現在の場所に開設した年度

表1 - 3 . 平成 20 年度、21 年度に情報収集を行った団体・行政機関等

| 団体・行政機関等 | 対応内容 | 活動開始年度 | 情報収集年度 |
|---------------------------------------|--|-------------|------------|
| リンク・リング | ・出前授業 | H16 | H20 |
| タンチョウコミュニティ | ・タンチョウのえさづくりプロジェクト協働実施 ・出前授業 | H20 | H20 |
| 山崎山林森林セラピー推進会 | ・フィールドでの様々な体験活動ほか | H19～H20 | H20 |
| NPO 法人釧路湿原やちの会 | ・フィールドでの出前授業 | H9 (1) | H20 |
| 特定非営利活動法人 トラストサルン釧路 | ・トラスト地における活動への参加 | H4 (2) | H20 |
| 釧路シャケの会 | ・出前授業 | S60 | H20 |
| ボランティアネットワーク チャレンジ隊 | ・情報提供 ・「音探検」プログラムに関する教員への アドバイス | H15 | H20 |
| NPO 法人環境把握推進 ネットワークーPEG | ・出前授業 ・野外体験学習プログラムの作成、実施 ・自然環境や生物に関する講演 | H19 | H20 |
| 釧路観光ガイドの会 | ・出前授業 | H14 | H21 |
| てしかがエコまち 推進協議会 | ・「てしかがジュニア自然ガイド」養成講 座の実施 | H20 | H21 |
| 環境コンサルタント 株式会社 | ・出前授業 | H14 | H20 |
| 太平洋総合コンサルタン ト株式会社 | ・出前授業 | H13 | H20 |
| 沢田建設株式会社 | ・特定外来生物の防除活動への参加受入 | H20 | H21 |
| 林野庁北海道森林管理局 釧路湿原森林環境保全 ふれあいセンター | ・出前授業、質問対応 ・フィールドでの森林散策・体験林業・ 炭焼き体験 | H16 | H20 |
| 北海道開発局 釧路開発建設部 | ・出前講座「釧路湿原見学会」 自然再生協議会の活動状況、釧路開発 建設部の取り組みなどについての説明 | H16 | H20 |
| 北海道環境科学研究セン ター道東地区野生生物室 | ・訪問学習の受け入れ ・出前授業 | H9 (3) | H20 |
| 北海道釧路支庁産業振興 部林務課 釧路森づくりセンター | ・出前授業、質問対応 ・学習、体験フィールドの提供 | - | H20 |
| 北海道釧路支庁地域振興 部環境生活課 | ・訪問学習受け入れ、質問対応 ・啓発資料の提供、貸出 ・HP による情報提供 | - | H20 |
| 釧路国際ウェットランド センター | ・質問対応 ・湿地を題材とする環境教育プログラム 実施における助言 | H7 (4) | H20 |

- 1) 任意団体からの活動を含む
- 2) 森づくり活動の開始年度を記載。
- 3) 開設年度を記載。
- 4) 開設年度を記載。

2 教員研修の実施

釧路教育研究センターと連携し、釧路湿原に対する新たな視点・気づきを教員と共有し、湿原の教育的な価値を捉えなおすことを目的とする教員研修を実施した。

(1) 研修概要

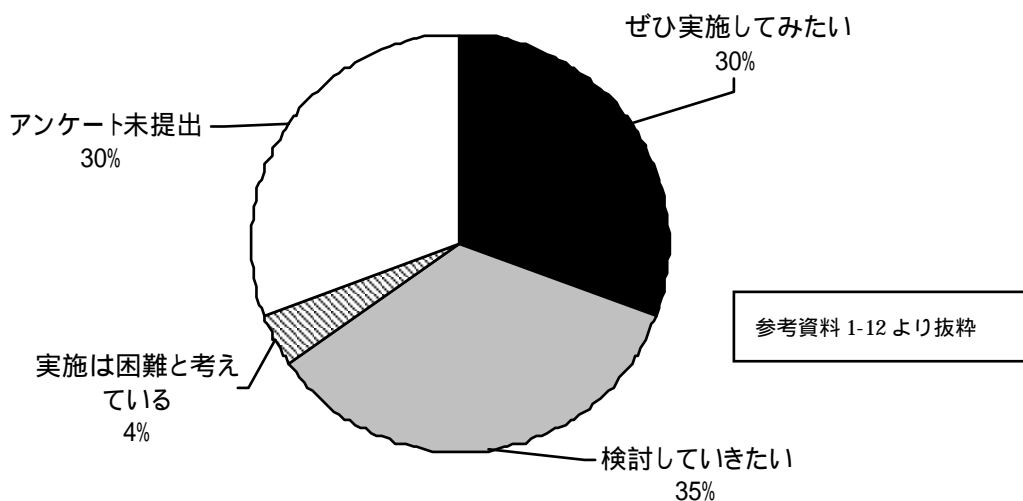
- ・実施日時：2009年7月9日（木）10時集合 16時解散
- ・参加教員：23名（釧路圏の小学校教員15名、小中学校教員1名、中学校教員7名）
内初任者7名
- ・実施内容：自然再生事業実施現場の見学（幌呂地区湿原再生事業地）
温根内自然探勝歩道でのフィールドプログラム体験
座学（釧路湿原の変遷、価値）及びディスカッション
- ・講師：新庄 久志 氏（釧路国際ウェットランドセンター主任技術委員）
若山 公一 氏（温根内ビジターセンター 指導員）
大森 享 氏（北海道教育大学釧路校 准教授）

(2) アンケート回収結果

小学校教員13名、小中学校教員1名、中学校教員2名の参加教員よりアンケートを回収した。（回収率：70％）

情報提供希望の記載があった7名の教員にワンダグリンドニュースの発信を行っている。

湿原を題材とした教育カリキュラム実施の意向



考えられる実施内容（実施してみたい若しくは検討していきたいと回答のあった方）

- ・ 私の学校では、F先生が3,4年生と湿原学習を実践しておられます。私自身もその実践を参考にさせていただきながら、考えたいと思います。 小学校教員
- ・ 散策活動を中心に、自然との向き合い方を伝えたい。 小学校教員
- ・ 社会科見学（生活科）。 小学校教員
- ・ A1の観点から。それ以外は検討中。 小学校教員
（ A1の内容：観光立国教育、まちづくり教育、環境教育の視点）
- ・ 湿原をテーマとした授業を行う等。 小学校教員
- ・ まちづくり、観光の観点から。理科、生物多様性。 小学校教員
- ・ 社会見学もしくは総合的な学習として、年度計画に位置づけるように検討したい。
小中学校教員
- ・ フィールドワークを中心とした観察、或いはウォーキング。 中学校教員

実施における課題等（検討していきたい若しくは実施が困難と回答のあった方）

- ・ 総合的な学習の時数減、総合的な学習を推進していくのに学校としての学年段階で大まかな方向性が決まっていること。また、実際に湿原に行つての体験活動を行うに当たつて学校からの距離があること。特に地域環境として湿原は身近なものではなく、湿原まで離れていて学習へのアプローチも含めて子どもの意識化や探究心を図ることが課題である。
小学校教員
- ・ どの教科のどの部分に、どんな内容で行つると効果的なのかを良く考え、計画的に行つていく必要がある。今すぐというわけにいかない。 小学校教員
- ・ 自分自身の知識がまだ乏しいこと。足並みが揃わなそうだと。 中学校教員
- ・ 移動手段や人数が1クラス40人近くなつてしまうと、移動や説明、体験など何をするにも時間が多くかかつてしまふそう。 小学校教員
- ・ 移動手段（出来るだけお金がかからないような）、時間の確保、カリキュラムづくりが必要。今すぐはできない。 小学校教員
- ・ 交通手段、経費。 小学校教員
- ・ 時間数確保。バス利用等の経費？関係。 小学校教員
- ・ 臨時教員で毎年所属校が安定しないため。継続的に責任を持ってアクションを起こしたい。
小学校教員

* 「(2) アンケート回収結果」は、参考資料 1-12 より、一部抜粋したものです。